



特別養護老人ホーム もみじ館 定期発行広報誌

人をつなぐ広報誌 “もみじん”

momi人

2020, July Vol.06

利用して頂いている皆様や地域の方々に
励まされ、助けられていると実感する日々
です。暮らしは大きく変わりましたが、も
みじ館の想いは変わりません。

今、私たちができる事をひとつひとつ行
い、もみじ館“らしい”変化を起こしてい
きます！

願いを込めた「momi人」第6号です。

今、私達にできること





再始動、
そして、
進化しました



介護予防健康教室「これからクラブ」7月から再始動します。
今までの健康にプラス参加することで地域貢献にも
寄与している仕組みを構築しました(右図参照)
微力ながら今できることを今後も行なってまいります。

内原 を 食 す

テイクアウトを利用し 消費の落ち込み 解消につなげよう!

もみじ館では毎週金曜日はテイクアウトの日とし、内原のお店のご飯を食べる習慣をつくりました。どのお店もとても美味しい、職員の習慣と楽しみになっています。



買って
食べて
応援しよう!

① ピザ小屋どんぐり
水戸市鯉淵町5965

② ナマケモノカフェ
水戸市有賀町1021-1

③ 森のキッチン&ギャラリーうさぎの家
水戸市小林町1205-2

④ 鳥久支店
水戸市内原町820



今、私達にできることwithコロナ

What We Are Doing

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、私たちの生活はガラリと変わってしまいました。
そんな中でも「地域のみなさんに元気で過ごしてもらいたい」
それはもみじ館職員の思いです。
そこで地域の皆さんを元気にする4つの応援企画を行なっています!!

サクヒンボシュウチュウ

ダレ、モテンランカイ

作品募集中

展示期間一週間

中崎 綾美 理学療法士
個別機能訓練の他、集団リハビリメニューの開発など行う

鈴木 直昭 健康運動指導士
フィットネスクラブにて2002年よりトレーニングに携わる

作品募集中

こちらの展覧会は誰でも参加できる世界一!?気軽な展示会です。
もみじ館に来ていただいた方々がこちらをご覧になり
”ほっこり”していただくことが目的です。
ほっこり作品、ぜひお待ちしております。

作品
募集中

みんなで笑顔



チラシ
配布
してます!



自宅で身体を 動かしましょう!!

コロナの影響により、外出制限になってしまってもお家でも出来る簡単な運動のご紹介です。
身体を動かすと、ここも動く。
こちらの動画をご覧になっていただきお家でも楽しく過ごしましょう!



YouTube

公開中です!
是非ご覧ください!



この「デイ」に来て良かった
また来たいと思って
もらえるように。

塙 真一

リハビリ、 やくわり、 ゆつたりで。

どのような状況の方も気持ちが上向く
デイサービスを目指します！

「最近、料理教室が人気なんです」

木曜日の午後、「デイホール」の大きなテーブルでは、オクラの肉巻きを、慣れた手つきで揚げている方たちの集団がありました。

芳ばしい香りがあたりに漂っています。

揚げたてを試食したり、お茶で一服したり、終始なごやかモード。

かと思えば、ご自分のお茶をいれるついでに他の方の分やスタッフにまでお茶を入れてくださる方、静かに読書を楽しんでらっしゃる方…みなさん思い思いの時間を過ごし方をされています。

スタッフも声かけはするものの、あくまでご本人の気持ちが優先。

ここに来られている背景を知り、

スタッフ間で情報を共有しつつ専門職同士の連携で

ご本人のモチベーションを上げ、あとは環境を整えるだけ。

小さな成功体験を積み重ねながら、楽しさを基本に、

みなさんをさまざまな活動にお誘いしています。

集団リハビリの後、
「動けるようになったよ
の一言が嬉しいです。」

稻田 真由子



この仕事を楽しく
やるために
認知症をよく知ることだと、
授業でも伝えています。
稻田 秀一



を目指せ! 健康経営への道

もみじ館は、心身ともに楽しんで働く健康作りを目指しています。

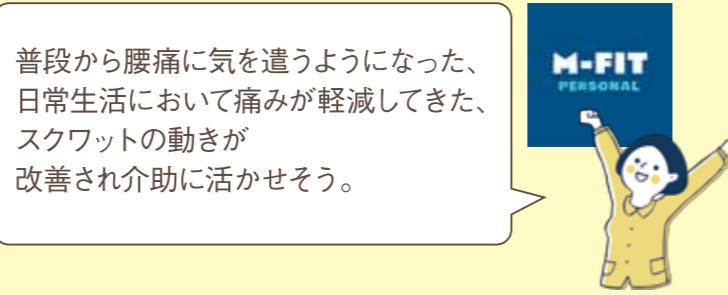
福利厚生の一環としてM-FITで
職員の運動機会の促進



運動機会が増えた。
筋肉量が8kg増えた、
身体が締まってきた、
ひとりで行うよりも複数の人数で
行うことで楽しく頑張れる



腰痛や身体の不定愁訴を改善するため、
パーソナルトレーニングを実施



もみじ館利用者アンケート

対象:ご利用者様またはご家族様

Q.1 職員のあいさつや言葉遣い等は
礼儀正しいですか?

良い: 78% やや良い: 11% 普通: 11%

Good!
いつも優しく接してくれる

Q.3 食事を楽しむための工夫や、体調に
配慮した食事が提供されていますか?

良い: 88% やや良い: 6% 普通: 6%

Good!
母の認知症の状態に合わせて
サービスを考えてくれて頼りになる

改善・対応
・送迎車のエンジンを切ってしまった
・利用者の立場になって考えていなかった

Q.2 ご利用者様に対する接し方や配慮、
介助時の職員の対応は丁寧ですか?

良い: 83% やや良い: 6% 普通: 11%

Good!
良く話を聞いてくれる
良く相談にのってくれる
いつも気持ちよくお世話になっている

Bad!
・送迎車のエアコンの
効きが悪かった
(令和元年8月15日
デイサービスへのご意見)

快適に乗車できるよう、
気温や車内の温度に配慮していきます。

アンケートのご協力ありがとうございます。
皆様からのご意見、ご要望に対しては真摯に受け止め対応いたしました。
今後遠慮なくお申し出頂き、ご利用者様・ご家族様に安心してご利用頂けるように努めています。



Question

- ①あだな ②特技・趣味 ③好きなこと・苦手なこと
④もみじ館に貢献したいこと・頑張りたいこと



もみじで 働く こんな人

もみじ館では約100名の職員が
様々な専門性をもって活躍しています。
そんなプロフェッショナルな人たちに
スポットライトをあてるコーナーです。



訪問課 小野 澄美江

ご利用者が「自宅で暮らしていくように支援すること」がホームヘルパー（訪問介護員）の仕事です。「食べる」「動く」「排泄する」といった日常生活に欠かせないことを支援するのはもちろん、安心した生活を送れるよう困り事を聴いたり、訴えに耳を傾けて気持ちを理解することも大切な仕事です。

例えば自宅で入浴介助を受けているご利用者が、自立支援の援助を受けて自分1人で入れるまでに回復するケースもあります。ヘルパーの適切な声掛けや介助方法により本人の意欲が引き出され生活力の向上に結び付いていったのです。地道に築いた関係性が日の目を見る時、私たちは何より大きなやりがいを感じることができます。

訪問サービスに慣れるまではヘルパーはもちろんですが、自宅で待つご利用者も緊張するものです。ヘルパーが優しい表情を浮かべ、思いやりのある態度で接し、能力を十分に発揮できたなら、そのサービスは最大限の効果を発揮するでしょう。その活躍を縁の下で支えていくことが私の重要な役割です。

身体介護	生活援助
<ul style="list-style-type: none">・入浴、排泄、更衣等の介助・食事や服薬の介助、専門的調理・移動、移乗介助・自立支援のための見守り的援助、等	<ul style="list-style-type: none">・買い物・調理・掃除・洗濯、等



特別養護老人ホーム もみじ館

〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町2222-1
電話番号 029-259-9295 / FAX番号 029-259-9296

提供サービス

- 特別養護老人ホーム 定員54名（ユニット型個室）
- 地域密着型特別養護老人ホーム 定員23名（従来型個室）
- 短期入所生活介護 定員30名
- 通所介護 定員40名
- 訪問介護 ○居宅介護支援サービス ○配食サービス

※同建物内に水戸市内原高齢者支援センターもございます。

